

令和2年度第1回 大和市子ども・子育て会議 会議録

日時：令和2年7月29日（水）午後2時～

場所：地域医療センター 2階 講習室

1. 開会

2. こども部長あいさつ

3. 会長及び職務代理の選出

- ・会長 館合 みち子 委員（委員の互選により選出）
- ・職務代理 鈴木 裕美 委員（会長の指定により選出）

4. 議事

(1) 大和市子ども・子育て支援事業計画及び大和市子ども・子育て会議について

事務局：（資料により要点説明）

会長：ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

委員：（意見等なし）

(2) 令和元年度事業報告及び令和2年度事業について

事務局：（説明は省略）

資料2の2ページ目、下段「※新型コロナウイルス感染症の・・・こども一る中央林間は8月中旬から再開予定です。」（下線部分）について「再開時期未定」に訂正させていただきます。

会長：事前にお目通しいただいた資料について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

委員：（意見等なし）

(3) -1 子育て支援施設「きらきらぼし」の指定管理者の評価について

指定管理者：（画像資料等により説明後、昨年度の子ども・子育て会議での委員からの意見について、下記のとおり説明。）

①施設の周知について不十分ではないか

連携幼稚園に2度ほど出向き、資料を配布するとともに幼稚園の説明会に参加した保護者への周知を依頼した。この他、公的施設や保育園、幼稚園、小児科、音楽教室等にも資料を配布した。

②施設利用の公平性について

①の他に、SNSを活用した情報発信、ホームページのリニューアルを実施。また、昨年度、月2回の開催で、定員の超過が4回ほどあった英会話教室について、今年度は開催日を増やし月4回開催。その他、新たに工作教室を始めるなど自主事業を充実させた。今般の新型コロナウイルスの対応についても、働く保護者のニーズに応えるため、当施設は1日も休まず保育ニーズに応えた。

会 長：ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

委 員：稼働率は平均するとどのくらいか。

指定管理者：だいたい1日あたり10名前後。昨年より増えている。

委 員：資料3の「託児」についてのアンケート結果について、問11「施設の生活において、適切な安全対策がなされていると思いますか？（施設、設備、防災訓練など）」について、半数が「よくわからない」と答えている。また、問10「日頃から近隣住民、商店街、消防署、警察署、小学校との地域交流がなされていると思いますか？」についても、半数以上が「よくわからない」と答えている。そこで、3点質問する。

- 1点目、職員の救命救急講習の実績があるか。また、避難訓練等を行っているか。
- 2点目、利用者増のための更なる施策、新しい日常に対応した取り組みがあるか。
- 3点目、地域の連携を深め、利用者を増やすための施策はあるか。

指定管理者：1点目について、現在、職員で救命救急の資格を持つ者はいないので、今後の課題である。避難訓練については、施設で毎月1回実施。その都度保護者には日々の連絡帳で報告している。また、保護者迎えの際に「5分間対応」としてその日の出来事について保護者に口頭で伝えているが、アンケート結果をみるとまだ伝えきれていないようなので、今後の課題である。

2点目、利用者を増やす施策として、①自主事業を増やす。②3月にニーズが高かったものとして、4月から通園する児童に対し、保育園勤務経験がある職員がプレのならし保育を、週4回午前中に実施。（7月にも実施。）③託児事業で利用児童がいない時間帯に一般の方の施設見学を実施した。また、今後、東急スクエア内に案内デスクを作り、施設・事業の紹介を行っていきたいと考えている。

3点目、公的機関も含めた地域連携については、具体的に実施しているものはない。今出来ることとしては、今年4月に当施設の近くに当法人が運営する「中央林間雲母保育園」が開所したので、園庭できらきらぼしの園児を遊ばせてもらったり、ポラリス等の施設に足を運び、地域との連携を深めていくことを考えている。

(3) - 2 指定管理者事業評価

事務局：(資料3-1の説明)

会 長：ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

委 員：今年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための、利用の自粛により、利用料等の収入が減っていると思われるが、運営費への影響は心配ないか。

事務局：きらきらぼしは指定管理方式で運営しており、利用料収入の減はあるが、保護者負担額をできるだけ低く抑えているので、総収入の中でみると、事業者の運営自体に影響を及ぼすものではないと考えている。ただし、あまりにも長期化するようであれば、指定管理料の見直しを検討する必要があるかもしれない。現状では、送迎ステーション等の利用者も減っていないし、預かり保育のニーズも、別の形で出てくるかもしれないため、市としては今後の展開を見ていきたい。

委 員：資料3の6ページ、収支状況について、売上総利益(△607,893円)については指定管理者の赤字ということか。また、大和にも新しい送迎ステーションを整備すると聞いているがどのような施設となるか。

事務局：収支状況についてはそのとおりである。こちらの送迎ステーションについては、北部地区の5園の幼稚園が利用しているが、今後、大和駅前に開所予定の公私連携型保育所については、8園の幼稚園の園児が利用できる。駅前の好立地で、スペースの制約がなく調理設備も設けることができる。一時預かり保育については、調理設備がないと1日4時間までしか預かることができないが、今度の施設は1日8時間まで預かることができるので、より市民の方の利便性が高まるのではないかと考えている。

委 員：2点質問する。①一日の利用者数10名前後ということだが、これで公平性が保てるのか。②東急中央林間スクエア全体の防災訓練について実施しているか。

事務局：1点目、一時預かりについて、昨年度実績では、この施設のみで3,211人だが、これは市内全ての保育所の一時預かり利用人数と比較しても遜色ない数字となっている。②建物全体の防災訓練にも参加している。避難情報や緊急連絡先についても、テナントとして情報共有している。

5、その他

事務局：文化創造拠点等運営審議会委員について、当会議に推薦依頼がきているものについて、鈴木裕美委員を推薦したいと考えているが、いかがか。

委 員：(一同異議なし)

事務局：(資料4)令和2年度大和市子ども・子育て会議開催スケジュールについて
今後は書面開催の予定。

6、閉会